

脳の聴覚メカニズムの研究から生まれた  
**シーメンス補聴器 binax シリーズ**  
**耳あな型、耳かけ型、普及価格帯も**  
**2015年5月26(火)発売開始**

シバントス株式会社(通称:シーメンス補聴器 本社:神奈川県相模原市、代表取締役社長:ベルント・ウェーバー)は、脳の聴覚メカニズムの研究を重ねて誕生した最新補聴器、「binax(バイナックス)シリーズ」の耳あな型、耳かけ型、先行発売していた RIC 型の普及価格帯製品を 5 月 26 日より全国のシーメンス補聴器取り扱い専門店、眼鏡店、百貨店などで発売します。



「binax シリーズ」は、両耳通信システムによって実現したバーチャルマイクで膨大な音情報を処理し聴き取りを最大化する補聴テクノロジーです。これまでの補聴器では、音を増幅する際に雑音までも拾いすぎてしまうことがしばしば問題となっておりましたが、指向性をよりパワーアップすることでこれを大きく軽減し、より聞き手に必要な音にフォーカスしながら、自然な聞こえを実現しています。

2014年11月にRIC型の「Ace binax」「Carat binax」「Pure binax」(7bx、5bxのみ)が先行発売され、市場で高評価を得ていますが、この度、耳あな型 (Insio binax 7bx、5bx、3bx)と、耳かけ型 (Motion binax 7bx、5bx、3bx)、RIC型の普及価格帯製品 (Ace binax、Carat binax、Pure binax 各々の 3bx)が追加発売されます。

また、アンドロイド、iPhone どちらでも使用できるリモコンも easyTek boost(イージーテックブースト)として生まれ変わり、耳あな型の Insio binax と一緒にご使用いただけるようになりました。また、テレビの音を補聴器でお聞きになりたい方に必須のボイスリンクを予めセットした、イージーテックブーストテレビパックも発売いたします。

フルラインナップの製品が揃ったことで、様々なニーズ、聴力の状況に応じて、より多くのみなさまに binax シリーズの聞こえをお届けできるようになりました。4人に1人が65歳以上の超高齢社会を迎える今、「binax シリーズ」は高齢者のより豊かな生活に貢献する画期的な製品です

本リリースに関するお問い合わせ先

シバントス株式会社 マーケティング部: クリスチャン・エトゲン/川瀬亜実子

TEL:042-765-5642 FAX:042-765-5601 MAIL:amiko.kawase@sivantos.com

## < 新製品概要共通 >

発売日：2015年5月26日(火)

取扱店：全国の補聴器専門店、眼鏡店、百貨店など、シーメンス補聴器取り扱い専門店

### < binax シリーズ概要 >

シーメンスは2004年に業界初のe2e技術を使用し、ボリューム、プログラム設定を同期した、補聴器を発売しました。このe2eワイヤレスをさらに進化させた「binaxプラットフォーム」技術では、両耳の補聴器間で音声信号の通信が可能となり、最大4つのマイク(各補聴器につき2個。両耳装用の場合×2)で仮想8つのマイクと同じレベルの膨大な信号処理を実現しました。その結果、これまでの補聴器の最大の課題(聞き取るために音量を上げると、聴きたくない音まで耳に入ってきて疲れる)を解決すべく、「聞きとり」と「聞き心地」の両立を高いレベルで実現。また飛躍的に向上した処理能力(従来品の120%以上)により、一人ひとりのニーズや好みに合わせた細かな音の調整が可能になりました。これらの新技術は2か所の独立した研究機関による臨床試験によって検証され、多くの方が話す補聴器にとって困難な環境下で「必要な音声の聞き取りが、健聴者に勝るとも劣らない」ことが実証(\*)されました。(\*4ページ目を参照)

#### 「binaxプラットフォーム」の特徴

##### ① ビーム指向性

雑音や複数の方が話している環境で両耳にbinaxを装用すると、自動的に前方の人の声によりピンポイントでフォーカスし、他の音を抑制します。この技術をビーム指向性と言い、補聴器ユーザーの聞き取りが各段に向上しました。

##### ② スピーチフォーカス 360° (7bxのみ)

前方だけではなく、左右や後ろなど、例えば運転中に相手の方を向くことが困難な場合に、補聴器が自動的に人の声の来る方向にフォーカスします。

##### ③ 両耳 e ウィンドスクリーン (7bxのみ)

これまでの補聴器ではマイクに風が触れると、不快な風切音が発生していました。新しいbinaxプラットフォームでは、風音レベルの低い側の補聴器の音を風音レベルの大きい補聴器に送ることで不快な音を軽減します。この音声信号の通信によって、風のノイズを効果的に抑えることができます。

##### ④ binax フィット

binaxプラットフォームではユーザーの置かれた状況を数秒で感知し、最適な音声処理を素早く行うことで一人ひとりの好みに合わせた音を実現しています。飛躍的に向上した処理能力により、ニーズや好みに合うきめ細かな調整を可能にしました。

この4つの特徴を持つ「binaxプラットフォーム」を搭載した耳あな型 (Insio binax 7bx、5bx、3bx)と、耳かけ型 (Motion binax 7bx、5bx、3bx)、RIC型の普及価格帯製品 (Ace binax、Carat binax、Pure binax 各々の3bx)が追加発売されます。

### • Insio binax インシオ ハイナックス

最新テクノロジーbinaxを搭載した耳あな型補聴器です。目立たない補聴器をお求めの方、メガネと併用したい方などにお薦めです。お客様の耳型をとってお一つお一つ、オーダーメイドでお作りします。片耳\240,000～



## •Motion binax モーション ハイナックス

最新テクノロジーbinaxを搭載した耳かけ型補聴器です。本体のボタンでボリューム調節ができます。重度難聴にも対応するパワータイプもございます。片耳\240,000～

## •Pure、Carat、Ace binax ピュア、カラット、エース ハイナックス (3bx)

「サイズにこだわりぬいたシーメンス最小ミニRIC補聴器」エース、「デザイン性も兼ね備える、シーメンス史上最高クラスのミニRIC補聴器」ピュア、「目立たない電池長持ちRIC補聴器」カラットの3種のRCタイプ補聴器に普及価格帯の製品が追加発売されました。

RIC	品名	片耳価格	両耳価格
	Pure 3bx+	240,000	432,000
	CaratA 3bx	240,000	432,000
	Ace 3bx	240,000	432,000



エース  
Ace

ピュア  
Pure

カラット  
Carat

モーションSA  
Motion SA

モーションPX+  
Motion PX+

## <ワイヤレスアクセサリ>

### •easyTek boost イージーテックブースト

イージーテックブーストはシーメンスのストリーミングとリモートコントロールの最新システムです。電話、音楽プレーヤーなど、多くのBluetooth対応デバイスに接続することができます。この度、耳あな型の最新補聴器でも使用できるようにリニューアルしました。¥41,040(税込)



### •easyTek boost TV pack イージーテックブーストテレビパック

easyTek(イージーテック)はテレビやホームステレオシステムなどの非Bluetoothデバイスにも、必要に応じて別売のアダプタ(VoiceLink ボイスリンク)を使用することで接続することができます。こちらのボイスリンクを予めセットしたTV視聴用のパックです。¥54,000(税込)

## ■シバントスグループについて

シバントスグループのルーツは、ヴェルナー・フォン・シーメンスが難聴者のための電話受話器を開発した 1878 年に遡ります。現在、グループは世界有数の補聴器メーカーのひとつです。2014 年度のシーメンスオーディオロジービジネスに係る社員は 5000 人を越え、売上は€690 million、EBIT は€126 million にのびります。世界のセールス拠点は 120 か国以上にわたり、補聴器販売従事者と取扱い販売店をサポートしています。製品開発は常に最優先事項であり、補聴器の歴史において、たくさんの“世界初”を生み出してきました。その一つが、ワイヤレス無線で交信する初めての補聴器です。2012 年に、シーメンスは、両耳の補聴器が通信することを可能にする両耳聴システムの開発により、オルデンブルグ大学と共同でジャーマン・フューチャー・プライズ (Deutscher Zukunftspreis) を受賞しました。また継続した技術革新によって、ついには、臨床テストで健聴者の聞き取りを上回ることを証明するまでの画期的な補聴テクノロジー\* にまで到達するに至っています。\*4 ページ目を参照  
詳細は web でご覧いただけます [www.sivantos.com](http://www.sivantos.com)

## ■EQTについて

EQT は北欧有数のプライベート・エクイティ・グループで、その投資先は、北欧、東欧、アジア、アメリカなどにわたり、総売上高で€25 billion、従業員数で 50 万人を超えます。EQT はこれら投資先とともに、サステナブルな成長と卓越したオペレーションの実現、および市場におけるリーダーシップの確立に向けて努力しています。

EQT についての詳細はこちらでもご覧になれます [www.eqt.se](http://www.eqt.se)

※参考資料: binax補聴器を装着した難聴者と健聴者の聞こえに関する実験

(難聴者が健聴者以上の聞き取りの優位性を持つことを証明した実験。2014年、University of Northern Colorado、2013年 Oldenburg Hörzentrum にて実施)

ノーザンコロラド大学、オルデンブルグ聴覚センターにおいて臨床試験を実施。軽度から中等度の難聴者に対し、ビーム指向性を搭載したCarat binaxまたはPure binaxを両耳に装着させ、擬似的なカクテルパーティーのような環境下における語音了解閾値(SRT)のテストを行ったところ、健聴者よりも最大で2.9dB良好な結果となりました。

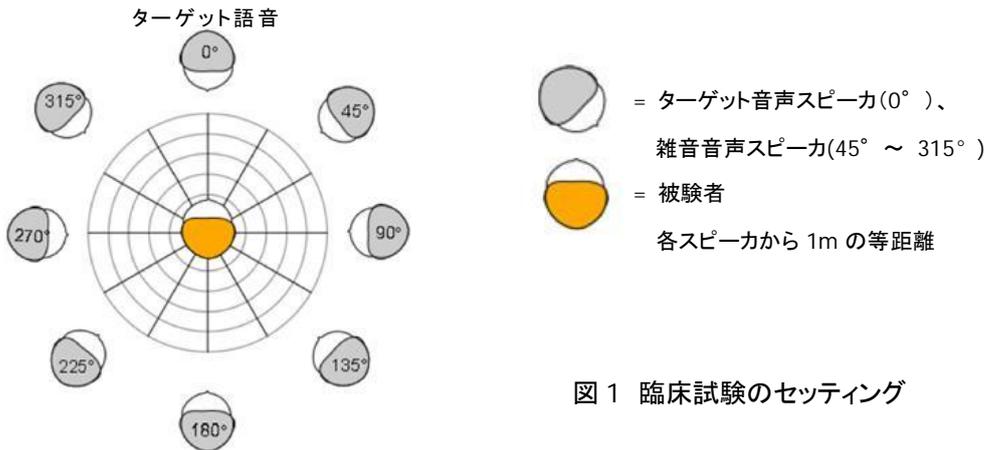
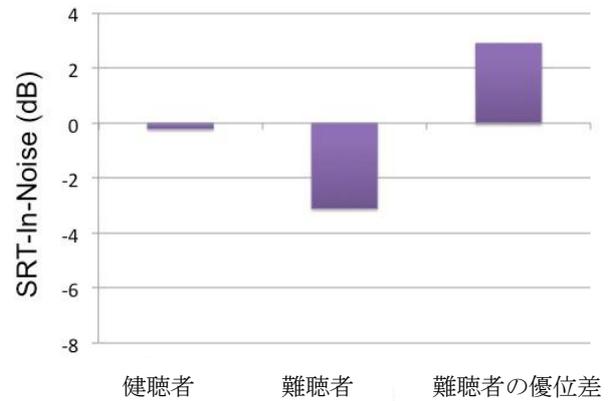
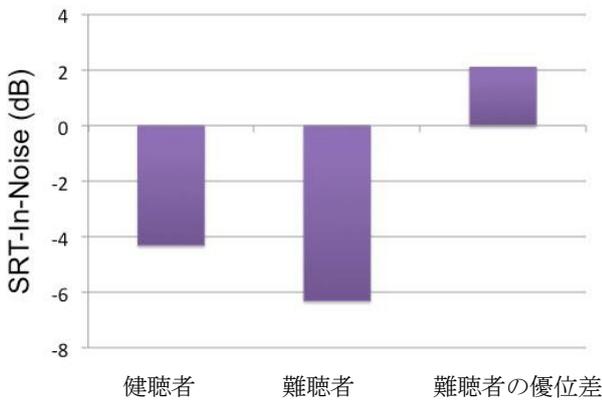


図 1 臨床試験のセッティング

被験者(黄色の頭部)が中央に座り、聞き取りたい会話を0度の方向から提示し、別の会話を他の7つのスピーカから流しました。

<実験結果>

左図:オルデンブルグ聴覚センターで実施された研究では、擬似的なカクテルパーティーの状況下で、ビーム指向性を搭載したbinaxの装着者の語音了解閾値(SRT)が、健聴者を2.1dB上回りました( $p < 0.01$ )。これは、研究で使用した試験用の会話音声「OLSA」の理解が30~35%向上したことを意味します。右図:ノーザンコロラド大学で実施された研究では、擬似的なカクテルパーティーの状況下で、狭い指向性を搭載したbinaxの装着者の語音了解閾値(SRT)が、健聴者を2.9dB上回りました( $p < 0.05$ )。これは、研究で使用した会話資料「HINT」の理解が30~35%向上したことを意味します。



⇒優位性は両施設とも2dBを超えており、これは実生活の多くの場面において音声の聞き取りに十分な効果をもたらすレベルと言えます。